

NEWS

- 福部未来学園の学園だより「楷の木」に8年生が福部駅のイロハモミジの株元に芝桜植栽をした活動が紹介されました。



楷の木



鳥取市立福部未来学園
学園だより No. 9
令和4年12月23日発行

教育目標

志をもち、自分で考え行動する子の育成～ふるさとの未来を拓き創造する福部の宝～

シバザクラの咲く駅に

校長 藤原 憲道



写真：浜湯山・多鯨ヶ池活性化委員会 HP より転載

この冬初めて雪が降った翌々日の12月16日、時雨模様の曇り空の下、地域の地域振興・活性化に取り組んでおられる住民団体の方たちと一緒に、8年生が福部駅前のリニューアル整備作業のお手伝いをしてきました。

作業内容は、駅舎前のイロハモミジの株元にシバザクラの苗300鉢を植えることで、生徒は担当の方の指示の下、手際よく地面を耕して植えていきました。

本校では、ふるさとキャリア教育の観点から「みらい」という特設教科の中で、地域の産業や観光、人々の取組から学ぶことによって、生まれ育ったふるさと福部に誇りと愛着を持ち、将来の地域を担う人材を育成する学習をしています。

今回、このような機会を得て地域の賑わいを創出しようとしていらっしゃる方と協働活動ができたことは、子どもたちにとって素晴らしい体験となりました。これから高校生になって駅を利用したり、春になってシバザクラの花の絨毯を目にしたときに、この取組を思い出し、地元愛を強くしてもらえればと思います。

現在、駅舎には地元出身のイラストレーターの素敵な福部のイメージイラストがほぼ完成しており、来年の夏には駅を拠点としたウォーキングイベントも計画されているとのことです。

利用者の減少による採算観点で地域交通の存続が語られる中、地域に賑わいや潤いを取り戻そうと頑張っておられる方と出会い、その活動の一端に参加させていただくことにより、一人でも多くの子どもたちがふるさと福部を盛り上げようとする気持ちをもって成長してくれることを願います。

お疲れさまでした！

今から来年の春にはピンクの芝桜が株元一面に咲くのが楽しみです。

